ENA Micro 1

取扱説明書

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意 ・・・

-安全上のご注意

（安全に関する重要事項です必ずお読みください）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明

警告 この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

注意 この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項

警告

■ 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。
（但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。）

■ 本体を改造しないでください。 感電や火災の原因となります。

■ 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
（電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。）

■ 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。

■ この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。

■ 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。
ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。

■ 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

■電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。

注意

■ 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。

■ 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。
感電や火傷怪我の原因となります。

■ 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。
また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。
感電や火災や怪我の原因になります。

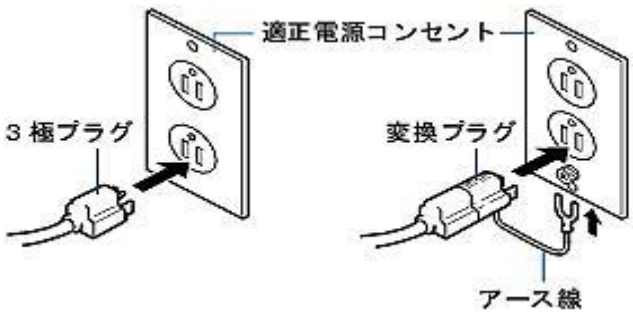
■ 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
■ 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
■ 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
■ 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、
細心の注意を払ってください。
■ 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
■ コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
■ 付属品以外のものを使用しないでください。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
■ 野外では使用しないでください。
■ 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
■ ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
■ 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
■ マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
■ 本来の目的以外には使用はしないでください。
■ スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
■ このマシンは業務用のマシンです。

<u>設置及び据付時の注意事項</u>

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。

⚠ 警告

■ 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量の確認を行う等、
設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
■ 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
■ 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。
電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
■ 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の
危険性があります。



⚠ 注意

■ 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。

■ 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。

■ 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。

■ 設置周辺温度は 5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。

■ 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

操作を行なう時の注意事項

⚠ 注意

■ 初めて使用する時、1 か月以上使用しなかった後は、コーヒー豆ホッパー等の食品に触れる部品は洗浄してください。

■ 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、抽出口の高さ調整をしてください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。

■ コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆ホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。

■ 抽出ライン（コーヒー／湯等）の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行なわず放置しておくと、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

■ コーヒー豆ホッパーは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。

■ パネル清掃にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。

■ 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

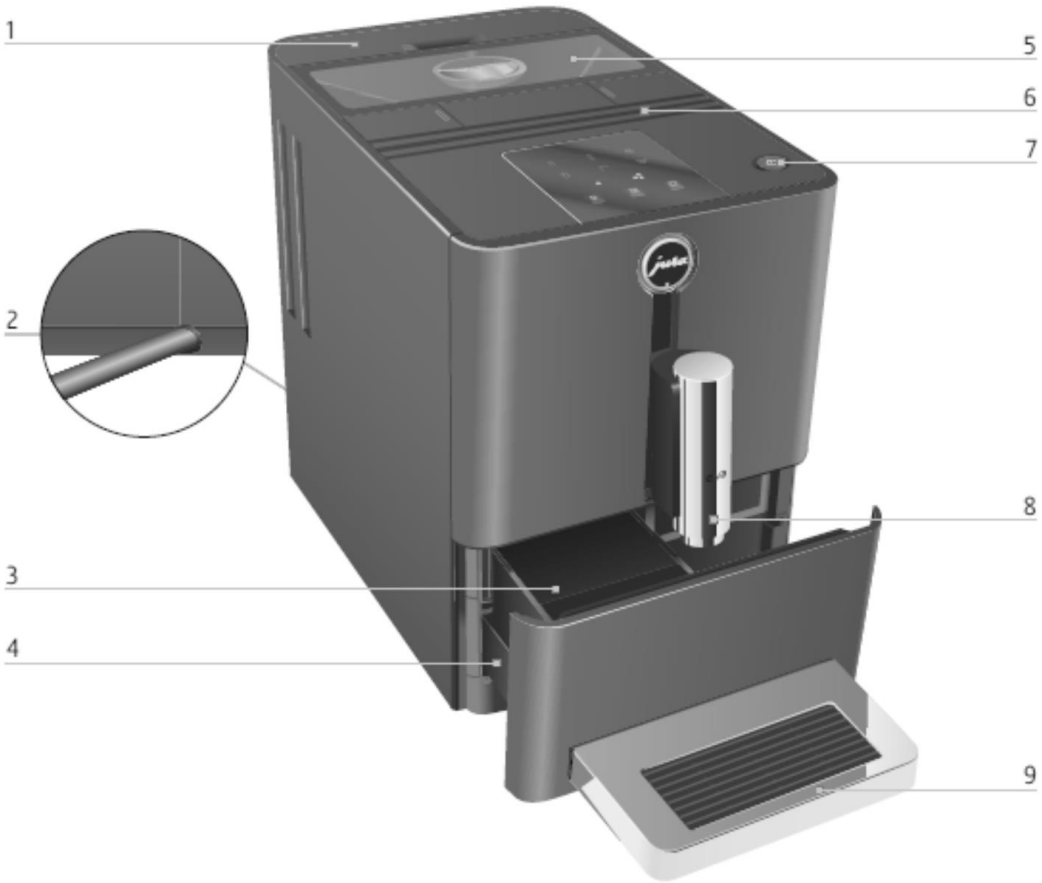
■ マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。

■ 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。

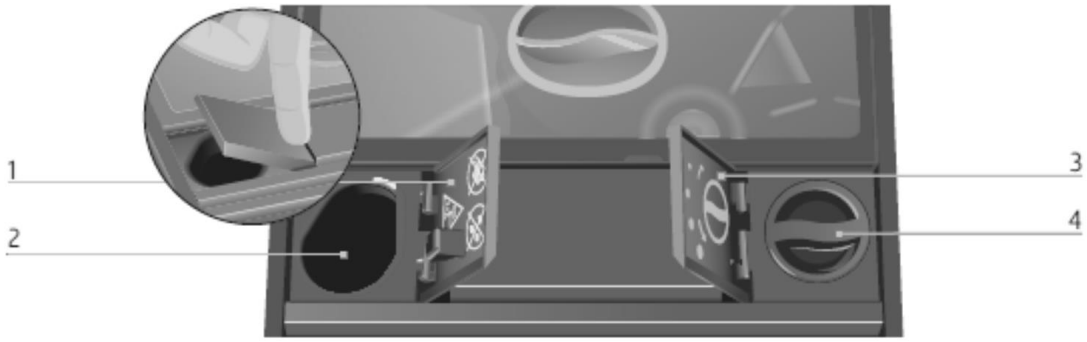
■ 0 度以下になる室内にマシンを放置しないでください。凍結により故障を起こす場合があります。

■ 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

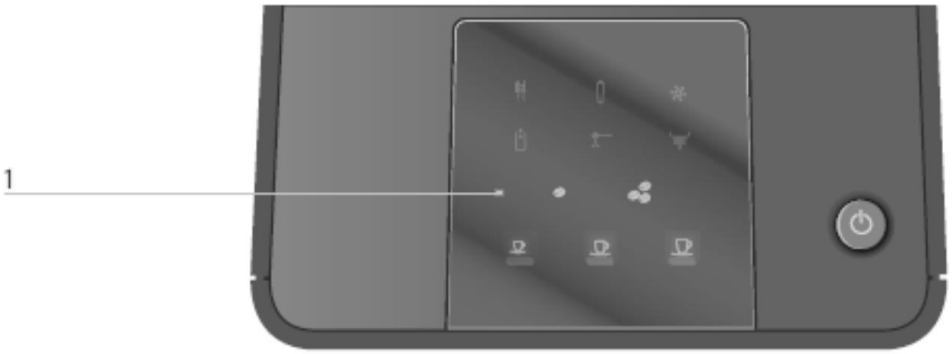
各部の名称



1. 着脱式給水タンク
2. 電源コード(マシン背面)
3. コーヒーカス受け容器
4. 排水トレー
5. コーヒー豆ホッパー
6. 通気口
7. 電源スイッチ
8. 高さ調整式抽出口
9. 排水すのこ



1. 洗浄剤投入口のフタ
2. 洗浄剤投入口
3. コーヒー豆挽き目調整ダイヤルのフタ
4. コーヒー豆挽き目調整ダイヤル
（ダイヤル：右回り 細かい 左回り 粗い）



1. ディスプレイ シンボル

	スケール除去		コーヒーグラム“ノーマル”
	クラリスフィルター		コーヒーグラム“ストロング”
	クリーニング		コーヒーボタン（小）
	給水タンク		コーヒーボタン（中）
	洗浄剤投入口		コーヒーボタン（大）
	コーヒーカス受け容器		

初めてご使用になる時の操作

1. コーヒー豆の準備をします。

コーヒー豆用ホッパーの蓋を開け、焙煎されたコーヒー豆を入れ、蓋を閉じてください。

※蓋の開いた状態の時、グラインダーは動作しません。

※挽いたコーヒー豆は入れないでください。

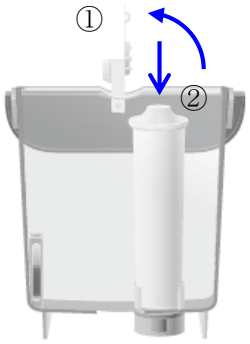
2. クラリスフィルターを設定し、水を準備します

(1) 電源コードを 100V15A 接地付きコンセント(接地タイプ)に差し込みます。
接地付きコンセントが無い場合は、変換アダプタを取付け接地(アース)してご使用下さい。

(2) 電源ボタン を押します。

(3) スケール除去 シンボル とクラリスフィルターシンボル が点灯しますので、クラリスフィルターシンボル を押します。

(4) 給水タンク シンボル が点灯しますので、脱着式給水タンクを取り出し、フィルターホルダー①を回転して立て、タンクの底の溝に合わせて、クラリスフィルターを挿入します。
フィルターホルダーを元の位置に戻してクラリスフィルターを固定します。



(5) 脱着式給水タンクに水を入れ、コーヒーマシンに取付けます。
取付けは、上からゆっくり降ろし、所定の位置に置いてください。
※水の量は、タンクに記載されている ーMAXー の線を超えないようにしてください。

(6) 脱着式給水タンクを取付けると、クラリスフィルターシンボル が点灯しますので、クラリスフィルターシンボル を押します。すると、コーヒーボタン(小・中・大) とクラリスフィルターシンボル の点滅が始まり、クラリスフィルターのすすぎが始まります。排水すのこにすすぎの水が流れ始めますが、自動的に停止します。

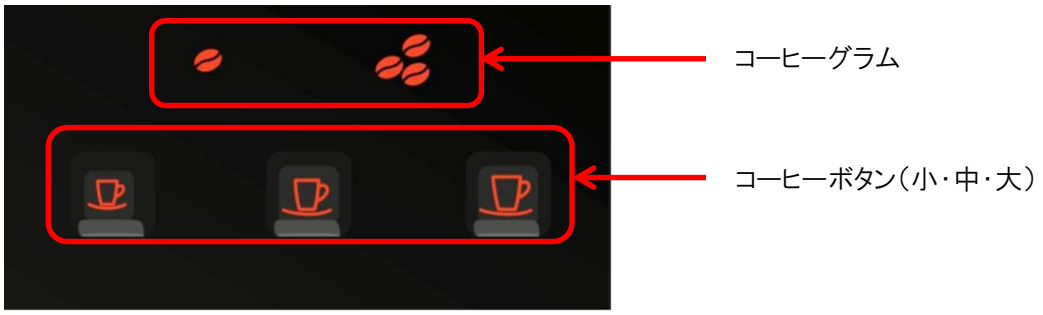
(7) クラリスフィルターのすすぎが終了すると、ヒーターの加熱が始まります。加熱が終了すると、コーヒーボタン(小・中・大) が点滅し、コーヒー抽出部のすすぎが始まります。
すすぎに使われた湯は抽出口より排出され、自動的に停止します。
※すすぎには湯が使われますので、湯がかからないよう十分離れてください。

(8) コーヒー抽出部のすすぎが終了すると、コーヒーカス受け容器シンボル が点灯しますので、抽出口を一番上に移動し、排水トレーを引出して内部に溜まった水を廃棄し、洗浄して排水トレーを元に戻してください。

(9) コーヒーボタン(小・中・大) とコーヒーグラムのボタン が点灯したら、準備完了です。

マシンの立ち上げ方法

1. 電源コードを 100V15A 接地付きコンセント(接地タイプ)に差し込みます。
   接地付きコンセントが無い場合は、変換アダプタを取付け接地(アース)してご使用下さい。
2. コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆を入れます。
3. 給水タンクに水を入れます。
   ※-MAX-ライン以上は水を入れないでください。
4. 電源ボタン を押します。
5. ディスプレイのコーヒーボタン(小・中・大)が点滅して、
   ボイラーのヒーティング(加熱動作)を行います。
   ※マシンがヒーティングをはじめ、コーヒー抽出可能になるまで約 40 秒かかります。
6. コーヒー抽出可能状態になると、コーヒーボタンとコーヒーグラムボタンが点灯します。



コーヒー抽出の仕方

1. コーヒーグラムのボタンを選択します。
2. 抽出をしたいコーヒーボタン(小・中・大)を押します。
3. 設定されたコーヒー量が抽出されます。

コーヒー湯量の調整方法

1. コーヒーグラムのボタンを選択します。
2. 調整したいコーヒーボタンを 3 秒以上押し続けます。
3. 押したボタン以外のコーヒーボタンが点滅を始めたら、プログラム状態になりコーヒーの抽出をします。適量になりましたら、もう一度同じボタンを押すことでその抽出湯量が記憶されます。
   ※200 cc以上は調整ができません。

エナジーセーブ

30 分間、マシンの操作を行わなかった場合、自動的に電源が切れます。
使う場合は、再度電源電源ボタン を押してください。

ディスプレイ シンボルの説明

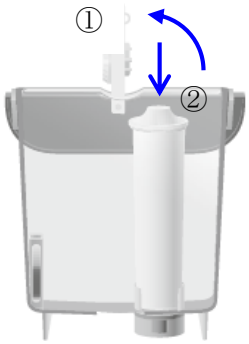
- **クラリスフィルター シンボル**

シンボルが点灯したら、クラリスフィルターの交換時期になりましたので交換します。

1. クラリスフィルターシンボル を3秒間押します。
2. 給水タンクシンボル が点灯したら、給水タンクを外して新しいクラリスフィルターと交換します。
3. 水を-MAX-ラインまで給水したらマシンに戻します。
4. コーヒーカス受け容器 シンボルが点灯したら、カス受け容器と排水トレイを外して容器を洗浄し、マシンに戻します。
5. クラリスフィルター シンボル が点灯したら、ボタンを押すとリンスが始まります。
6. リンスが完了すると、コーヒーカス受け容器シンボル が点灯するので、カス受け容器と排水トレイを外して容器を洗浄し、マシンに戻します。これで、クラリスフィルターの交換は完了です。

クラリスフィルターを 2 ヶ月使用しましたら、クラリスフィルターシンボルが点灯しなくても、交換をしてください。

1. コーヒーグラムのボタン を3秒間押すと、スケール除去シンボル クラリスフィルターシンボル クリーニングシンボル 、およびコーヒーグラムのボタン が点灯します。
2. クラリスフィルターシンボル を3秒間押すと、給水タンクシンボル が点灯します。
3. 給水タンクを取り出し、フィルターホルダー①を回転して立て、タンクの底の溝に合わせて、クラリスフィルターを挿入します。
   フィルターホルダーを元の位置に戻してクラリスフィルターを固定します。
4. 給水タンクに水を-MAX-ラインまで給水したらマシンに戻します。
5. コーヒーカス受け容器シンボル が点灯するので、抽出口を一番上に移動し、排水トレーを引出して内部に溜まった水を廃棄し、洗浄して排水トレーを元に戻してください。



6. クラリスフィルターシンボル が点灯しますので、クラリスフィルターシンボル を押します。すると、コーヒーボタン(小・中・大) とクラリスフィルターシンボル の点滅が始まり、クラリスフィルターのすすぎが始まります。排水すのこにすすぎの水が流れ始めますが、自動的に停止します。
7. クラリスフィルターのすすぎが終了すると、コーヒーカス受け容器シンボル が点灯しますので、抽出口を一番上に移動し、排水トレーを引出して内部に溜まった水を廃棄し、洗浄して排水トレーを元に戻してください。
8. コーヒーボタン(小・中・大 が点滅すると、ヒーターの加熱が始まり、コーヒーボタン(小・中・大) とコーヒーグラムのボタン が点灯したら、準備完了です。

- **クリーニング シンボル**

シンボルが点灯したら、クリーニングを行って下さい。(約15分かかります)
※目安として「180 杯抽出する」、あるいは「80 回電源オン時のクリーニングを行う」と、クリーニングシンボルが点灯します。

1. 給水タンクを外し、水を-MAX-ラインまで給水したらマシンに戻します。
2. クリーニング シンボル を3秒間押します。
3. コーヒーカス受け容器 シンボル が点灯したら、カス受け容器と排水トレイを外して容器を洗浄し、マシンに戻します。

4. クリーニング シンボル が点灯したらボタンを押します。
5. 洗浄剤投入口 シンボル が点灯したら、投入口のふたを開けてコーヒーマシンクリーナーを1錠入れます。
6. 投入口のふたを閉じると、もう一度クリーニング シンボル が点灯しますので、ボタンを押すとクリーニングが始まります。
7. クリーニングが完了すると、コーヒーカス受け容器シンボル が点灯するので、カス受け容器と排水トレーを外して容器を綺麗にし、マシンに戻します。これで、クリーニングは完了です。

クリーニングシンボルが点灯する前にクリーニングを行いたい場合は、下記の操作を行ってください。

1. コーヒーグラムのボタン を3秒間押すと、スケール除去シンボル クラリスフィルターシンボル クリーニングシンボル 、およびコーヒーグラムのボタン が点灯します。
2. クリーニング シンボル を3秒間押します。
3. これ以降の作業の流れは、前ページの「シンボルが点灯したら、クリーニングを行って下さい。」の 2.以降と同じです。

- **給水タンク シンボル**

※点灯目安としてコーヒー120 ccの場合、約 7 杯で給水タンクシンボルが点灯します。
給水タンク内のお水が無くなるとシンボルが点灯します。
マシンから給水タンクを外して、タンクに水を-MAX-ラインまで注ぎます。
給水タンクをマシンに戻すと、シンボルの点灯が消えます。

- **コーヒーカス受け容器 シンボル**

9 杯抽出を行うと、シンボルが点灯します。
マシンからコーヒーカス受け容器を外して、溜まったコーヒーカス及び溜まっている排水を捨てます。
容器をマシンに戻すと、シンボルの点灯が消えます。
※コーヒーカス受け容器を外す時は、抽出口を一番上に移動してから外してください。

- **スケール除去 シンボル**

スケール除去が必要なタイミングになると、シンボルが点灯します。
クラリスフィルターを使用している場合は、このシンボルは点灯しません。
クラリスフィルターを使用する設定を行ってください。

1. コーヒーグラムのボタン を3秒間押すと、スケール除去シンボル クラリスフィルターシンボル クリーニングシンボル 、およびコーヒーグラムのボタン が点灯します。
2. クラリスフィルターシンボル を3秒間押すと、給水タンクシンボル が点灯します。
3. これ以降の作業の流れは、前ページの「2 ヶ月使用しましたら、クラリスフィルターシンボルが点灯しなくても、交換をしてください。」の手順の3.以降と同じです。

日々のクリーニング

1. 使用する前に
タンクの水は、1 日の使用前に新しい水に入れ替えてください。
また、コーヒーカス受け容器や排水トレーにコーヒーカスや水が残っている場合は、全て廃棄し、水洗いをした後、柔らかい布で拭き、コーヒーマシンにセットしてください。

2. 電源投入時
電源スイッチ を押して電源を投入すると、自動的に抽出口から水が出て、抽出経路のクリーニングを行います。
クリーニングが終了すると、水は自動的に停止します。

3. 電源を切った時
電源スイッチ を押して電源を切ると、自動的に抽出口から水が出て、抽出経路のクリーニングを行います。
クリーニングが終了すると、水は自動的に停止します。

4. 1 日の最後に
コーヒーカス受け容器や排水トレーを取り出し、中に残っているにコーヒーカスや水を全て廃棄してください。
ぬるま湯で水洗いをした後、柔らかい布で拭き、コーヒーマシンにセットしてください。
タンクの水を廃棄し、新鮮できれいな水で水洗いした後、柔らかい布で拭き、コーヒーマシンにセットしてください。

アラーム表示

表示シンボル	原因/結果	対応
給水タンクシンボル点灯。	給水タンクが空、あるいは正しく挿入されていない。 抽出できない。	・給水タンクに水を補給。 ・給水タンクを正しく挿入。
コーヒーカス受け容器シンボル点灯。	コーヒーカス受け容器が満杯。 抽出ができない。	・コーヒーカス受け容器を空にする。
コーヒーカス受け容器シンボル点滅。	排水トレーが正しく挿入されていない、あるいは挿入されていない。 抽出ができない。	・排水トレーを正しく挿入する。
コーヒーボタンシンボルとコーヒーグラムシンボルが点滅。	コーヒー豆ホッパーの蓋が正しくセットされていない、あるいはセットされていない。	・コーヒー豆ホッパーの蓋を正しくセットする。
コーヒーグラムシンボル、クリーニングシンボルとスケール除去シンボルまたはクラリスフィルターシンボルが明るく点灯。	プログラミングモードに入っている。	・コーヒーグラムシンボルを押すと、プログラミングモードから抜ける。
使用準備完了の状態で、クリーニングシンボルが点灯している。	クリーニングが必要な状態。	・マシンのクリーニング操作を実施。
使用準備完了の状態で、スケール除去シンボルが点灯している。	スケール除去が必要な状態。	・スケール除去操作を実施。
使用準備完了の状態で、クラリスフィルターシンボルが点灯している。	クラリスブルーフィルター５０リットルの水を浄水すると、浄水機能が衰える。	・クラリスブルーフィルターカートリッジを交換する。

トラブルシューティング

不具合状況	原因/結果	対応
コーヒーがポタポタと抽出される。	コーヒーの挽目が細かすぎて、流れを悪くしている	・グラインダーの設定を、粗い方向に変更する。
	クラリスブルーフィルター目詰り	・クラリスブルーフィルター交換。
給水タンクに水が十分あるにもかかわらず、給水タンクシンボルが点灯する。	給水タンク内にある給水タンクフロートが固着している。	・給水タンクのスケール除去。
	給水タンクが浮いている。	・給水タンク再セット。
	給水タンクシンボルが５秒間点灯その後、電源が消える。	・コンセント抜差しして電源入れても復旧しない場合はコールセンターに連絡。
コーヒーグラムシンボルが、交互に点灯する。	内部まで、十分に水が供給されてない。	・給水タンクに、水を十分にいれる。 ・コーヒーグラムシンボルを触ると給水動作が始まる。
豆がうまく挽かない	グラインダー内に、異物が入っている。	・異物を取り除く。
	挽目が細かすぎる。	・挽目を粗くする。
	ホッパー内が汚れている。	・ホッパー内を清掃。
	豆が湿気っている。	・新鮮な豆に交換。
初めてご使用の際、フィルターまたはスケール除去選択をせずに電源を切りその後電源が入らない。	直ぐに電源スイッチ入り切りしている。	・コンセント抜差し後、電源を入れて選択作業をを行なう。
電源をいれてたらクリーニングシンボルが５秒間点灯その後、電源が消える。	マシンが寒い場所に長い間置かれた場合、ヒーティングできない。	・温かい場所に置き、しばらくしてから電源を入れる。

消耗品について

主な消耗品として、以下の部品が有ります。

部品名称	備考
脱着式冷水タンク	
コーヒー豆ホッパーの蓋	
グラインダーのカッター刃	
かす箱	
排水すのこ	
抽出用ノズル	
各種 O リング、ガスケット	
抽出ユニット、ピストンおよびフィルター	
ヒューズ	
抽出ユニット	
クラリスフィルター(クラリスブルーフィルター)	
コーヒーマシンクリーナー	

仕様及び機能一覧

項目	仕様
マシン寸法	W230×D445×H323
電気容量	単相 100V 1250W
給水タンク容量	約 1.1 L -MAX-の線で約 950mL
コーヒー豆ホッパー容量	125 g
コーヒーカス受け容器の容量	約 9 杯分
初回沸き上げ時間	約 40 秒
重量	約 9 kg
保存環境温度	+4 ～ +60℃
使用環境温度	+4 ～ +35℃

ブルーマチックジャパン株式会社
本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22
大阪（営）：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

073015